

就職先企業等（2024年3月卒）に対する 2026年度調査報告書

南山大学

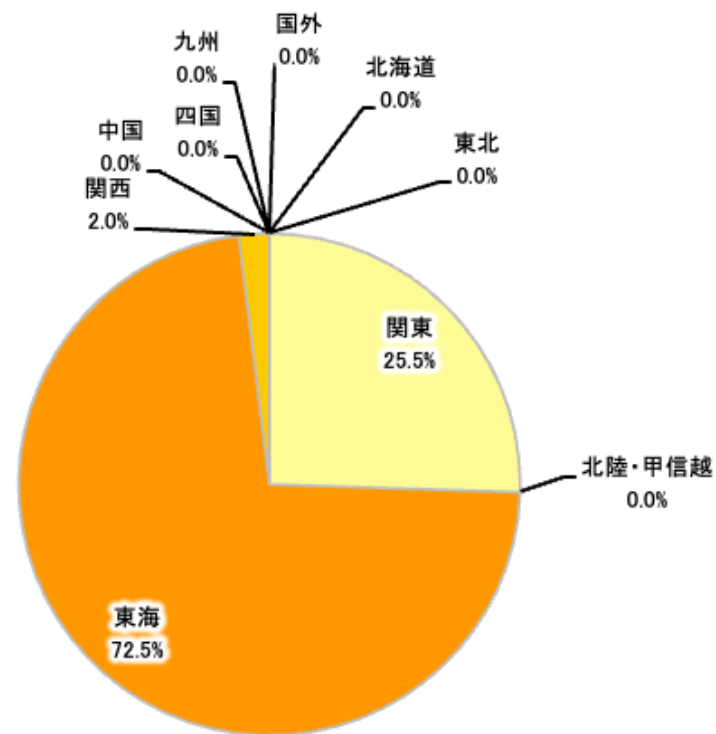
- ▷調査趣旨：本学が学生に対して在学中に身につけさせる学力や資質・能力および養成しようとする人材像に照らして、卒業生の就職・進学状況等から教育の成果や効果を検証する。
- ▷実施対象：2023年度卒業生（2024年3月卒）の就職先企業・公的機関 100社
- ▷実施方法：Webページ受付フォームによるアンケート調査
- ▷実施期間：2026年5月1日（金）～5月31日（日）
- ▷回答数：51件（回答率51.0%）

■ 目次

▷回答者の基本属性(本社所在地、業種、規模)	… 4～6
▷採用時に重視する能力	… 7
▷南山大学が重視する能力がどの程度身についているか	… 8～9
▷卒業生は社会人基礎力がどれくらい身についているか	… 10～11

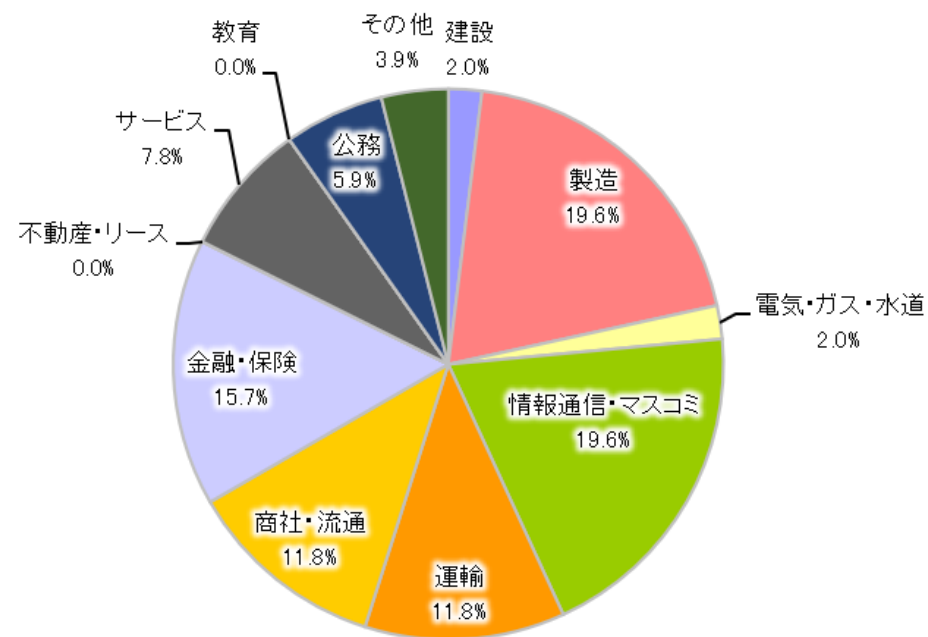
回答者の基本属性 [本社所在地]

		回答者数 (人)	構成比 (%)
	【2024年】全体	46	100.0%
	【2025年】全体	44	100.0%
	【2026年】全体	51	100.0%
本社所在地	北海道	0	—%
	東北	0	—%
	関東	13	25.5%
	北陸・甲信越	0	—%
	東海	37	72.5%
	関西	1	2.0%
	中国	0	—%
	四国	0	—%
	九州	0	—%
	国外	0	—%

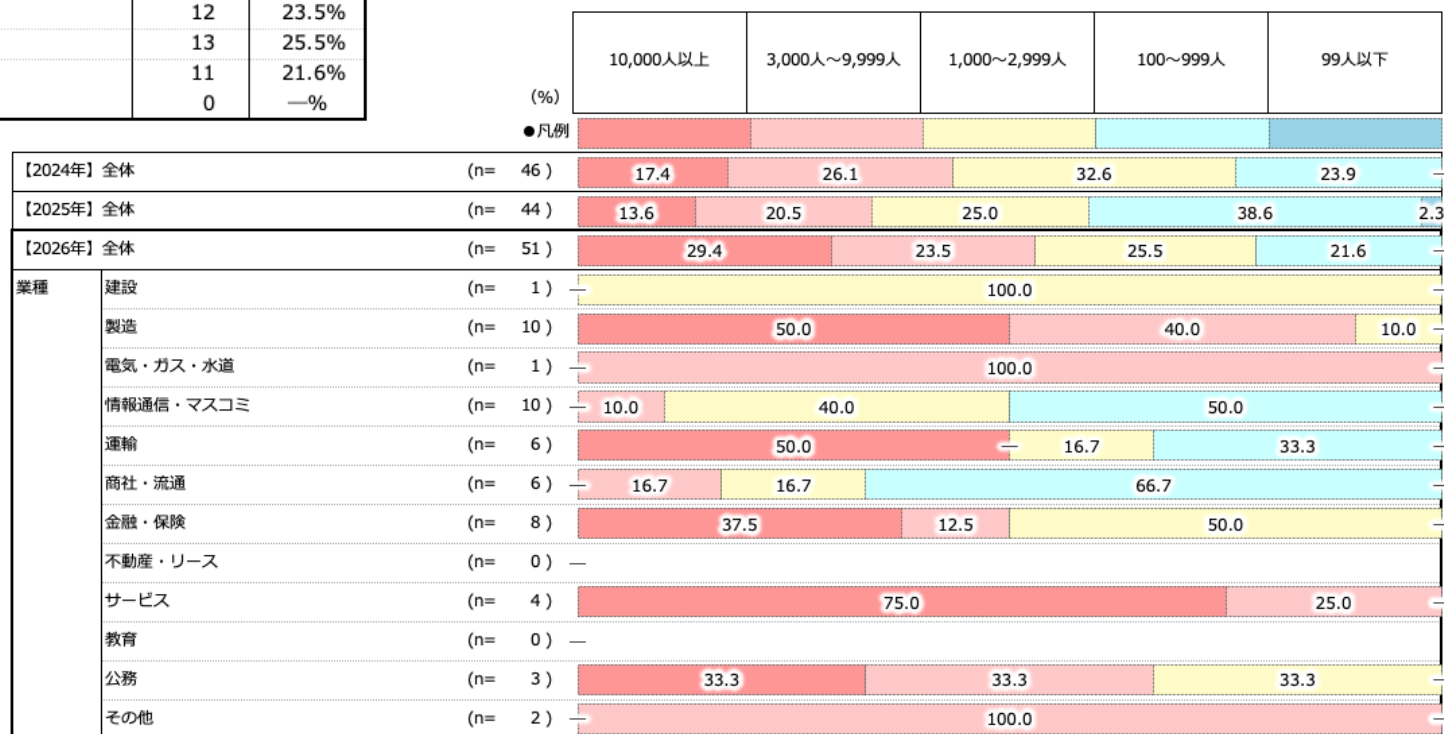


回答者の基本属性〔業種〕

		回答者数 (人)	構成比 (%)
【2024年】全体		46	100.0%
【2025年】全体		44	100.0%
【2026年】全体		51	100.0%
業種	建設	1	2.0%
	製造	10	19.6%
	電気・ガス・水道	1	2.0%
	情報通信・マスコミ	10	19.6%
	運輸	6	11.8%
	商社・流通	6	11.8%
	金融・保険	8	15.7%
	不動産・リース	0	—%
	サービス	4	7.8%
	教育	0	—%
	公務	3	5.9%
	その他	2	3.9%



		回答者数 (人)	構成比 (%)
【2024年】全体		46	100.0%
【2025年】全体		44	100.0%
【2026年】全体		51	100.0%
規模	10,000人以上	15	29.4%
	3,000人～9,999人	12	23.5%
	1,000～2,999人	13	25.5%
	100～999人	11	21.6%
	99人以下	0	—%



※総回答数51、内0は無回答数

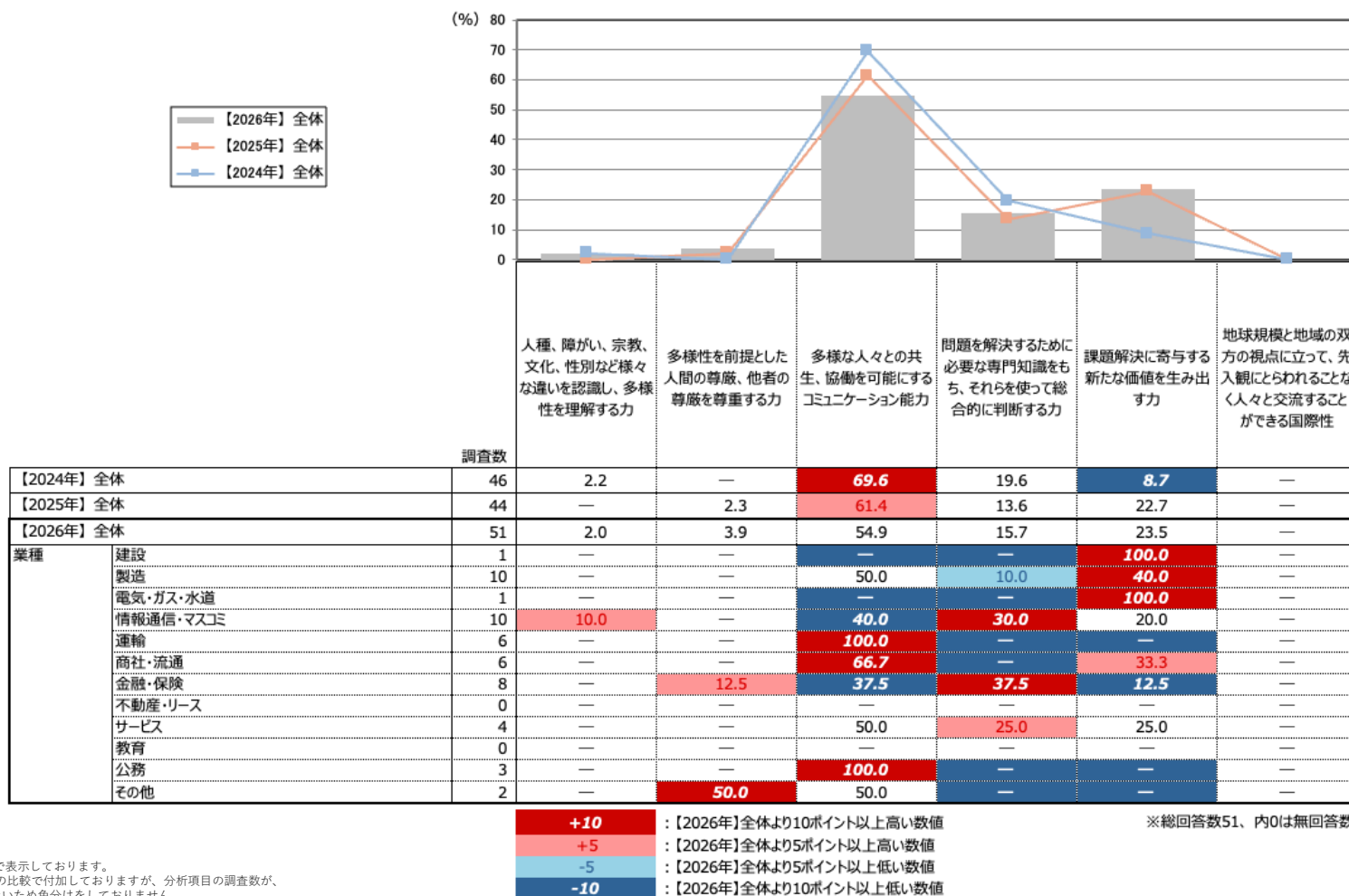
採用時に重視する能力

本学が掲げる5つのディプロマ・ポリシー（DP）のうち、採用時に最も重視する能力を一つ選択してもらった。
数値の高い順で以下となった。

1位：多様な人々との共生、協働を可能にするコミュニケーション能力 54.9%

2位：課題解決に寄与する新たな価値を生み出す力 23.5%

3位：問題を解決するために必要な専門知識をもち、それらを使って総合的に判断する力 15.7%



数表、グラフの「0」は「-」で表示しております。
また、数表の色分けは全体との比較で付加しておりますが、分析項目の調査数が、「0」の場合、比較はしていないため色分けをしておりません。

南山大学が重視する能力がどの程度身についているか

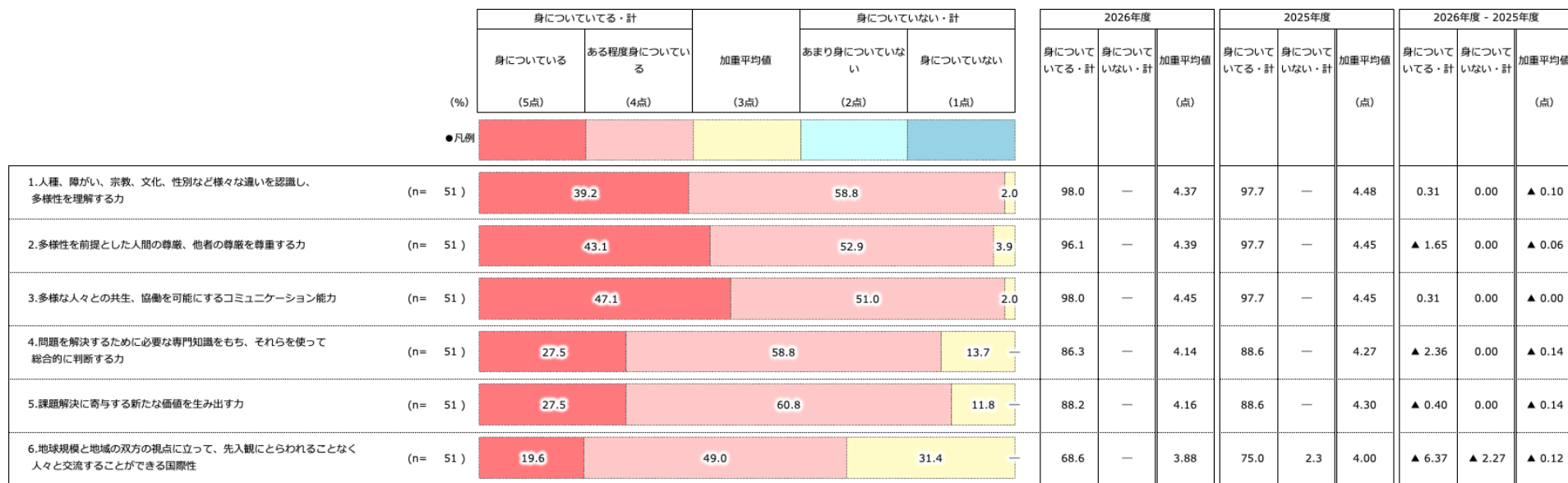
卒業生は本学のディプロマ・ポリシー（DP）がどの程度身についているか、各項目5段階評価で回答してもらった。

「身についている」「ある程度身についている」の数値が高い順に以下となった。

1位：人種、障がい、宗教、文化、性別など様々な違いを認識し、多様性を理解する力 および 多様な人々との共生、協働を可能にするコミュニケーション能力 98.0%

2位：多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を尊重する力 96.1%

3位：課題解決に寄与する新たな価値を生み出す力 88.2%



※総回答数51、内0は無回答数

南山大学が重視する能力がどの程度身についているか

5段階評価のうち「身についている」と回答した者の全体および業種ごとの割合を示した。数値（全体）の高い順に以下となった。

1位：多様な人々との共生、協働を可能にするコミュニケーション能力 47.1%

2位：多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を尊重する力 43.1%

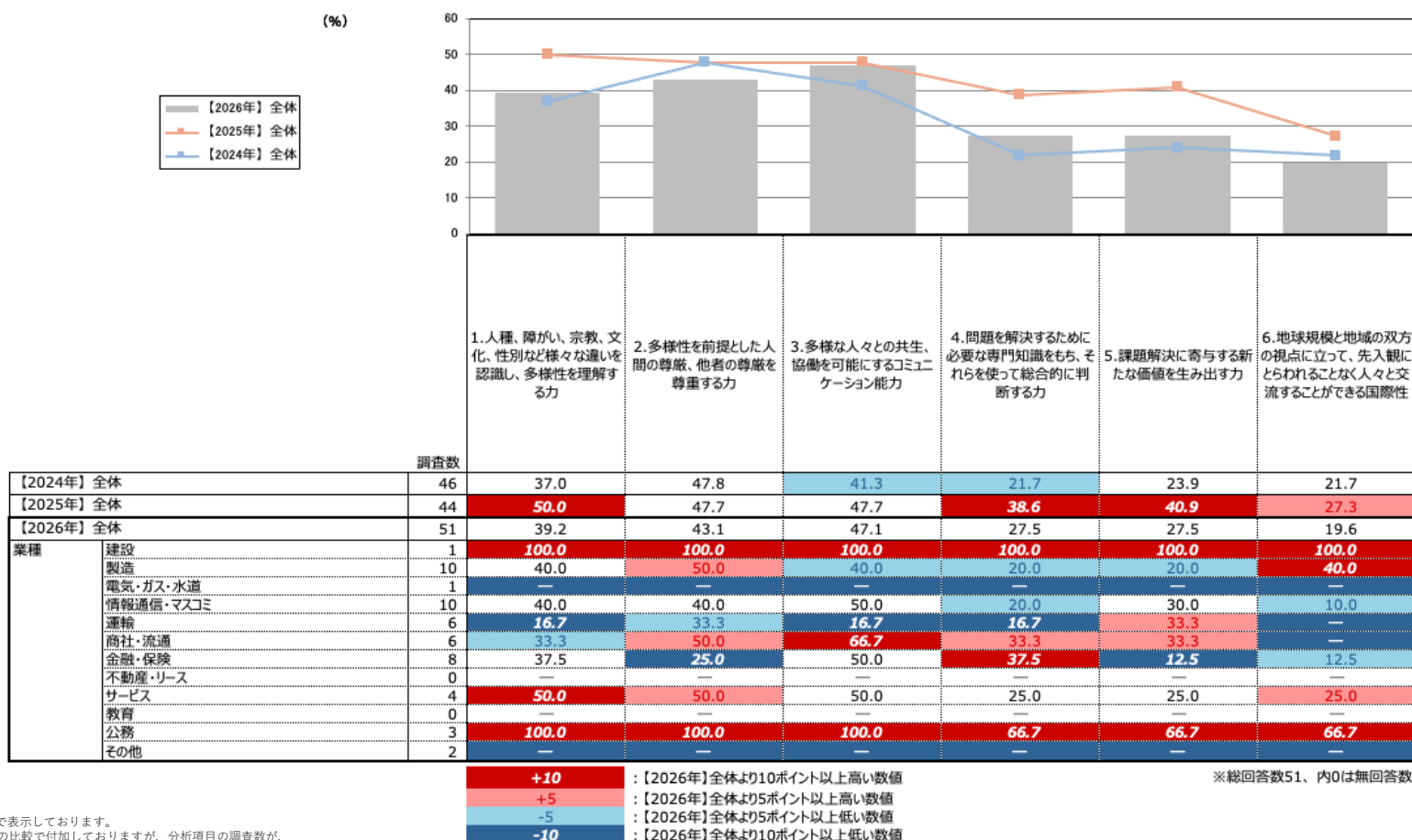
3位：人種、障がい、宗教、文化、性別など様々な違いを認識し、多様性を理解する力 39.2%

4位：問題を解決するために必要な専門知識をもち、それらを使って総合的に判断する力 および 課題解決に寄与する新たな価値を生み出す力 27.5%

5位：地球規模と地域の双方の視点に立って、先入観にとらわれることなく人々と交流することができる国際性 19.6%

Top1(身についている)回答

選択肢の最上位を選んだ回答者が全体の何%が算出した数字。



数表、グラフの「0」は「-」で表示しております。
また、数表の色分けは全体との比較で付加しておりますが、分析項目の調査数が、「0」の場合、比較はしていないため色分けをしておりません。

卒業生は社会人基礎力がどれくらい身についているか

社会人基礎力について卒業生の各能力の習得度を各項目5段階評価で回答してもらった。「高い」「やや高い」の数値が高い順に以下となった。

1位：意見の違いや立場を理解する力（柔軟性）、他の人と協力して物事を進行する能力（チームワーク力） 100.0%

2位：目的を設定し確実に行動する力（実行力）、相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力） 98.0%

3位：物事に進んで取り組む力（主体性） 96.1%

4位：自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）、社会のルールや人との約束を守る力（規律性） 94.1%

5位：現状を分析し目的や課題を明らかにする力（課題発見力）、課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）、自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力（状況把握力） 92.2%

		高い・計					低い・計					2026年度			2025年度			2026年度 - 2025年度		
		高い		どちらとも言えない	低い・計		高い・計	低い・計	加重平均値	高い・計	低い・計	加重平均値	高い・計	低い・計	加重平均値					
		(5点)	(4点)		(2点)	(1点)										(点)	(点)	(点)		
●凡例																				
1.物事に進んで取り組む力（主体性）	(n= 51)	41.2		54.9		-3.9		96.1	3.9	4.33	90.9	2.3	4.27	5.17	1.65	0.06				
2.他人に働きかけ巻き込む力（働きかけ力）	(n= 51)	35.3		52.9		5.9 5.9		88.2	5.9	4.18	90.9	2.3	4.23	▲ 2.67	3.61	▲ 0.05				
3.目的を設定し確実に行動する力（実行力）	(n= 51)	29.4		68.6		-2.0		98.0	2.0	4.25	95.5	2.3	4.36	2.58	▲ 0.31	▲ 0.11				
4.現状を分析し目的や課題を明らかにする力（課題発見力）	(n= 51)	29.4		62.7		5.9 2.0		92.2	2.0	4.20	86.4	2.3	4.25	5.79	▲ 0.31	▲ 0.05				
5.課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）	(n= 51)	33.3		58.8		7.8 —		92.2	—	4.25	90.9	2.3	4.25	1.25	▲ 2.27	0.00				
6.新しい価値を生み出す力（創造力）	(n= 51)	19.6		52.9		23.5 2.0 2.0		72.5	3.9	3.86	75.0	2.3	3.95	▲ 2.45	1.65	▲ 0.09				
7.自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力）	(n= 51)	33.3		60.8		3.9 2.0		94.1	2.0	4.25	95.5	2.3	4.32	▲ 1.34	▲ 0.31	▲ 0.06				
8.相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力）	(n= 51)	45.1		52.9		2.0		98.0	—	4.43	95.5	—	4.43	2.58	0.00	▲ 0.00				
9.意見の違いや立場を理解する力（柔軟性）	(n= 51)	41.2		58.8		—		100.0	—	4.41	95.5	—	4.36	4.55	0.00	0.05				
10.社会のルールや人との約束を守る力（規律性）	(n= 51)	56.9		37.3		5.9		94.1	—	4.51	93.2	2.3	4.48	0.94	▲ 2.27	0.03				
11.自分と周囲の人々や物事との関連性を理解する力（状況把握力）	(n= 51)	27.5		64.7		7.8		92.2	—	4.20	90.9	—	4.30	1.25	0.00	▲ 0.10				
12.ストレスの発生源に対応する力（ストレスコントロール力）	(n= 51)	23.5		49.0		23.5 2.0 2.0		72.5	3.9	3.90	75.0	2.3	3.95	▲ 2.45	1.65	▲ 0.05				
13.批判的に考える力（クリティカル・シンキング）	(n= 51)	21.6		29.4		41.2 7.8		51.0	7.8	3.65	61.4	2.3	3.80	▲ 10.38	5.57	▲ 0.15				
14.自分の強みを活かし仲間と協働して目標を達成する能力（リーダーシップ力）	(n= 51)	19.6		60.8		13.7 5.9		80.4	5.9	3.94	86.4	2.3	4.23	▲ 5.97	3.61	▲ 0.29				
15.他の人と協力して物事を遂行する能力（チームワーク力）	(n= 51)	56.9		43.1		—		100.0	—	4.57	97.7	—	4.45	2.27	0.00	0.11				

数表、グラフの「0」は「-」で表示しております。
また、数表の色分けは全体との比較で付加しておりますが、分析項目の調査数が、「0」の場合、比較はしていないため色分けをしておりません。

※総回答数51、内0は無回答数

卒業生は社会人基礎力がどれくらい身についているか

5段階評価のうち「身についている」と回答した者の全体および業種ごとの割合を示した。数値（全体）の高い順に以下となった。

1位：社会のルールや人との約束を守る力（規律性）、他の人と協力して物事を遂行する能力（チームワーク力） 56.9%

2位：相手の意見を丁寧に聴く力（傾聴力） 45.1%

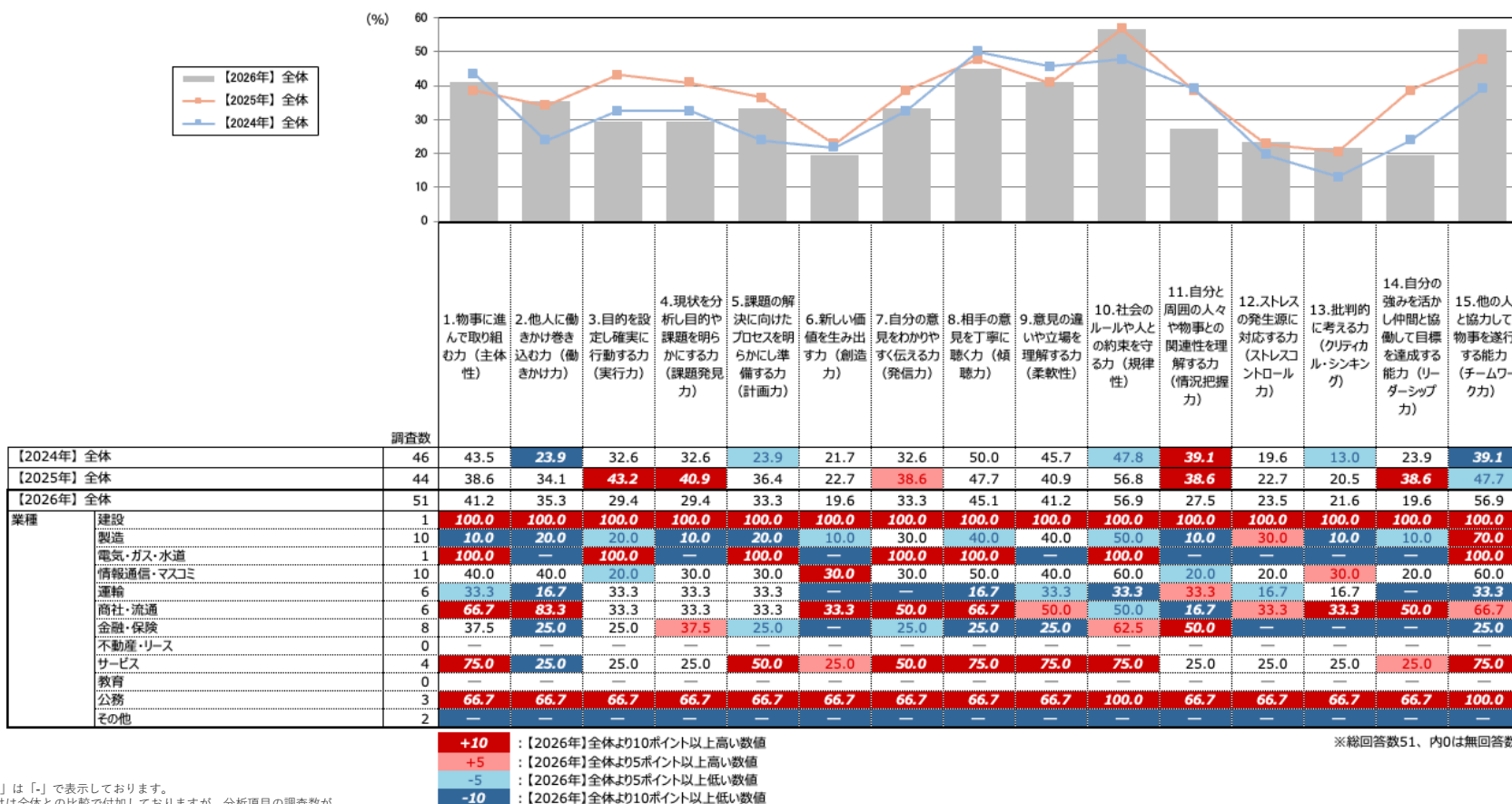
3位：物事に進んで取り組む力（主体性）、意見の違いや立場を理解する力（柔軟性） 41.2%

4位：他人に働きかけ巻き込む力（働きかけ力） 35.3%

5位：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力（計画力）、自分の意見をわかりやすく伝える力（発信力） 33.3%

Top1(高い)回答

選択肢の最上位を選んだ回答者が全体の何%か算出した数字。



数表、グラフの「0」は「-」で表示しております。
また、数表の色分けは全体との比較で付加しておりますが、分析項目の調査数が、「0」の場合、比較はしていないため色分けをしておりません。